

智徳の真玉

学校教育目標：命・人権を大切にし、豊かな心を持ち、
学ぶ力を身につけた、たくましい子どもの育成
ホームページ<http://hhigashi@town.aisho.lg.jp>

R2. 7. 1発行
秦荘東小学校
発行責任者
校長 今村 増弘

「学校の新しい生活様式」＋「熱中症対策」

6月1日より、学校の新しい生活様式を守っての学校生活が続いています。幸い何事もなく、1か月を過ごさせていただくことができました。本当にご協力ありがとうございました。

さて、学校の新しい生活様式を守っての学校生活は続けなければなりません、熱中症への対策も同時に進めなければなりません。連日の猛暑日で、子どもたちは朝登校してきた時から、すでに汗びっしょりです。5時間目を終えて低学年が下校する時間帯は、本当に日差しが痛いほどです。学校前の信号機のところで子どもたちを見送っていますが、日差しをよけるために傘をさしています。マスクも子どもたちから離れている間は外しています。子どもたちにも、隣同士になって話したりしないように間を開けて歩く時は、マスクを外していてもよいと伝えています。日傘になるものをさしてくるのもいいと伝えています。本当に暑いので、日よけの工夫や水筒のお茶が十分に足りるようによろしくお願いいたします。

教室では、エアコンの冷房も使いながら、暑い外気も取り入れて、密閉空間にしないように気をつけています。ですから、教室内でも例年のように快適な温度にまで下げることができません。熱中症対策は、こまめな水分補給と新型コロナウイルスの感染防止を兼ねて顔洗をするのが有効です。ここでも密集には気をつけながらになりますが、子どもたちに何度も水で顔を洗うことも推奨しています。しっかり汗をふきとれる清潔なタオルを毎日持たせていただきますようお願いいたします。

体育の後や中休みに外で遊んできた後には、昇降口にミストを設置しました。子どもたちが自由に使っています。水道をひねって、使い終わったら元通りに閉めるだけです。誰かが独占するということもなく、ミストの下に一瞬密集はしますが、ささいな涼を得て、また学習に戻っています。そして先日からは、町から2台、扇風機つきの大きなミストを設置していただきました。一瞬にして、体がひんやりとします。現在は、登校後、中休みや昼休みの後、あるいは体育の後と、気づいたときにスイッチを入れるようにしています。日本中の、いや世界中の子どもたちも同じようにがんばっているのでしょうか、本当に暑い中での学習に取り組んでいます。家に帰ったら、十分に休養がとれますよう、よろしくお願いいたします。6月も大変暑かったのですが、7月はそれ以上になります。ご協力をよろしくお願いいたします。

廊下から窓越しの学習参観、いかがだったでしょうか？

6月29日から、7月3日までの5日間、2時間目に限ってですが、分散型の学習参観日を設けさせていただいています。まだ、後半が残っていますが、いかがだったでしょうか。学校の中でできる新しい生活様式の工夫でお気づきの点はなかったでしょうか。ご安心いただける状況ではないとは思いますが、ウイルスがつかない状態を学校の中に作ることは不可能です。最終的に、ウイルスを目や鼻や口などから体内に入れないために、個々に何かができるか。互いに何に注意すると、周りの人を守るか。そのことをみんなが考えて過ごすことが大切です。手洗い・うがい・熱中症対策も兼ねて洗顔を何度もするのが最も現実的な対策ではないかと思えます。



暑い中ですが、子どもたちは、張り切って学習に取り組んでいます。学習に適した環境ではない中での学習ですが、みんなで学べることややはり大きな力になっていきますし、我々教職員にとっても、子どもたちの笑顔、声が響く学校は、エネルギーの源です。安心はできなくても、なんとしても現状維持で、子どもたちが学べる環境を守っていきたいと思っています。

